□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

1工事	い拡い	ルベリン	ノート(令和5年度	.夫他分)			1/F/	或・更新日	2024年	=6月28日	
事業名	中運動组	〉園調整池	沒渫事業	実施計画事業or一般事業		投事業		該当なし			
. +	±+n			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情		卒業サルフ-	t° widī	又符由声兴力		∆ =⊥	άл.	市光二五	出左口	主 のフ・	
	部	産業文化スプ		予算中事業名	マ竺	会計					
	課	スポーツ推進		中運動公園調整池浚渫事業		款					
	係	スポーツ施設		무베나스 성계상	科目	項					
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	_				
政策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	R5	実施方法		_	
	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	施設等數	&備事業	
	養概要	なび(基本計	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備 画期間内)目標値 風や大雨の際、水路から流れ込んだ土砂た	」	り除去す	, . ; .					
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値	11111						
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
日的 (本事業に	出来もハラ	ロミ田 市ないよっこ ノン	国や上去の際 しゅんこうないご しょしき	中運動公園利用人数	人	-	-,	-			
よって成し			風や大雨の際、水路から流れ込んだ土砂	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41	
遂げたい	か堆積して	おり、取り味く	ことで安全で快適なスポーツ施設とする。				10 新規の継続 新規事業 15 市単独事業 15 市単独事業 16 日意的事業 17 日意の事業 18 日恵の				
状態)											
									,	<u> </u>	
2 前年度	きの字結(そ	壬制 刄 水 夷 田	 対効果)説明								
(1)活動		ロ劉及い貝爪	沙沙水,就叫	(2)活動を説明する数値デ		で要素を	# 42				
(1) /山玉								D.F.			
				活動指標	単位	R3	K4	R5			
				改修整備する施設数	施設			1			
活動実績											
(R5年度に	中军私八日	ロミロホケントン分ン世	大声 测县 凯让亲武五戏大声								
行った主な活	中選劉公園	國調釜心沒冻	江事、測量・設計委託及び工事	事業費計	千円	0	0	10.280			
動内容)				2 1112 121			Ū	R4 R5 1 0 10,280 80			
				一般財源	千円			80			
				特定財源(国·県·他)	千円			10,200			
				(うち受益者負担)	千円			-			
				(力)文益有其担)	TD				II		
(3)活動	めによる効果			(4)事業効果を説明する数	(値デー	タの推移			↓選択し7	こ下さい	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
+1	治世一亩ま	」 ##1丰土7/1	りを除す! たろとに bの - 4国や十五の際	中運動公園利用人数	人	3,272	10,009	12,416	値が大きいほど良い	効果が上がった	
効果説明			りを除去したことにより、台風や大雨の際、 がり、取り除くことで安全で快適なスポーツ	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない	
(定量及び 定性)	施設とする。		かり、取り除くことで女主で「大胆な人が一り								
X-11-)	川田政とする。	•									
(5) 費田	日がか里結り	果(自動判定	Ξ)								
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		1	
	効果が上が		1指標	X I O/JI JX I WICK J F J III			効果が上がった		効果が下がった	}	
効果	効果は変わ	らない指標数	1指標		費	費用は下がった					
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	らた指標数 指標全体	0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し	0				
	度に向けた検 ①5年度の		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用な	対効果に	句上のための	D課題				
(2) 上詞	己反省点及び	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組								
				取組説明							
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討								

仕事	の振り)返りシ	~ト(令和5年度	実施分)			作成·更新日		2024年	6月28日
事業名	渡良瀬川	 ふれあいえ	スポーツ広場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	— _j	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報									
	部	産業文化スポ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	スポーツ推進		渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業	予算	款	10	新規or継続	継続	
	係	スポーツ施設			科目	項	5		市単独	
	体系コード	222	全	根拠法令、条例等		目	_	義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市体育施設条例及び同		開始年度	H20	実施方法		営
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	条例施行規則	期間	終了年度		事業分類	施設維持	官埋事業
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 ・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部を占用許可を受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利										
(2)目的		よう広場の維持	特管理をする。	(3)目標値						
(2) 👊	<u> </u>			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				利用者数	人	5,024	5,014	4,601	5,500	5,500
(本事業に	・利用者が	安全で快適に	利用できる施設・設備環境の整備が図ら	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
よって成し 遂げたい	れる。									
状態)										
3. 副年 8 (1)活動 活動実績 (R5年度に 行った主な 動内容)	・市民がスパ 良瀬川河川 して市民にする。	ポーツ・レクリエ・ 川敷の一部の _に	対効果)説明 ーションを楽しめる場所を確保するため、渡 占用許可を受け、ふれあいスポーツ広場と な利用ができるよう広場の維持管理をす	(2)活動を説明する数値デ活動指標 管理委託件数 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他)	単位 件 千円 千円	R3 0 0 0	R4 0	R5 0 0 0 0		
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	値デー	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明			1. d 1.46 ± 4% l= =	利用者数	人	5,024	5,014	4,601	値が大きいほど良い	効果が下がった
が未続り (定量及び 定性)		ツ施設を良好ツ施設の利用	な状態を維持する。 促進を図る。	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(5)費日	日対効果結果	果(自動判定	·)							•
	とR4の一般 効果が上が	財源増減) がった指標数 らない指標数	費用の増減無し <u>0指標</u> 1指標 <u>1指標</u> 効果が下がった	※10万円以上の増減により判断	費用	費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
(1) 令和	度に向けた検 □5年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用な	対効果に	句上のための	の課題			
特になし										

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

江 事	の振り	ル区りン	シート(令相5年度	美施分)			作	成・更新日	2024年	■6月28日
事業名	陸上競技	支場運営 委	委員会支援事業	実施計画事業or一般事業		般事業 「		該当なし		該当なし
L. 基本情	5 幸品			施策横断的な取組との関連性	SDGs		コンパクトシティ		スマートシティ	
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
	課	スポーツ推進			予算					
	係	スポーツ施設	徐	陸上競技場運営委員会支援事業	科目	項	5	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	的事業
改策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H2	実施方法	直	営
	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市都市公園条例	期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	概要	び(基本計	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備・画期間内)目標値 会に交付金を交付している。年1回の総会	山帝 防吐辛目が協を行ってい	7					
	•陸上競技	場運営委員		以) の利用開始に伴い、施設の有	与効利原		的利用を図	図るため具体	*策の研究	協議や円
(2)目的	7			(3)目標値						
. – / ш	<u>-</u>			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	陸上競技	場施設・設備	の充実及び有効利用に関した研究・提言	利用・運営の提言数	<u> </u>	1	1	1	1	1
(本事業に										
よって成し 遂げたい	公認審判。	員の養成や競	競技場の開催及び運営に携わってもらう。							
状態)	•各種陸上	競技会の大会	会運営などに協力してもらう。							
·										
		手動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の持	進移		,	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	映上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関した研究・提言をしてもらう。 ・陸上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関した研究・提言をしてもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開発及び費用対効果)説明 ・公認番判員の養成や競技場の開発などに協力してもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開発などに協力してもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開発などに協力してもらう。 ・公認番判員の養成や競技場の開発などに協力してもらう。 ・公認番書の表籍・研究回数 回 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3									
	, ,	•	今に六付令を古出 年1回の公今 時時	(本学表員会の十会抄も同数)		0	0			
舌動実績 j R 5 年度に テった主な活				建呂安貝云の人云伽刀凹奴	凹	8	8	一般 事業計画 単年度		
	/ R.未. L. 空空+5	担塞党委员	(全の注動)	事業費計	千円	150	50	50		
動内容)				— 船田大佰	工 田	150	50	スマートシティ 単年度繰り返 新規の継続 継続事業 市単独事業 任意的事業 長務の任意 任意の事業 支援事業 支援事業 支援事業 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大		
			元の共体外の別元励成で11月で過止な			130	30			
	IJJ 日3 C I I フ C	•		特定財源(国·県·他)	千円		R4 R5 R6 R7			
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 汗雨	h/C FZ하田			(4) 車業効用を説明する物	/荷≕	なの世段			1324日 7	- 下士い
(3) /山玉	いによるが大						R4	R5		
				利用・運営の提言数		1		1		効果は変わらない
効果説明	• 陸上競技:	場施設・設備	の充実及び有効利用に関した研究・提言	11/11 ELONELOX						7,57,110,52,17,9,01
(定量及び	をしてもらう。		3-							
定性)										
(5) 费用	── ──── ∃ᡮむħ₽£±E	艮(自動判 定	<u> </u>							
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効里		
	効果が上が	った指標数	0指標	M I O/J/ JOX II J			効果が上がった		効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わら		1指標 0指標		費	費用は下がった				
旨標値増減)	効果が下が	<u>りに指信数</u> 指標全体	効果は変わらない		用	費用の増減無し				
	፤に向けた検] 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	3等を踏まえた検討課題、費用対	対効果に	句上のための)課題			
(2) 上記	尼安省点及び	「課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	T. 40-V9-						
	事業効果を 事業費の見	上げるための .直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	取組説明						
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)										

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 2024年6月28日

1上尹	11事の振り返りンート(市和3年及夫加刀) 「RM・東新市 2024年0月20日										
事業名	秋山川ク	ブランドゴル	フ場維持管理事業	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約		総合戦略		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情		☆***ナ ルフ・	1º 11.47	又签上事业 2		_=I	én.	±	出左唐经	(PINE)	
	部課	産業文化スポーツ推進		予算中事業名	予算	会計					
	誅 係	スポーツ施設		秋山川グランドゴルフ場維持管理事業		項					
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	7711	目	,				
			新たな流れの創造による賑わうまちづくり	似观众中、未为寻	亩₩	開始年度					
政策体系	基本目標			佐野市体育施設条例及び同	期間		п20				
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	条例施行規則	처기미	終了年度		争耒刀規	/心記文亦任1寸	日垤尹未	
	既要と目的及		画期間内)目標値								
事業概要	・グラウンドコ	ゴルフ場及びト	イレの維持管理								
(2)目的	(2)目的 (3)目標値										
- · ·				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				市有スポーツ施設の利用人数	人	250,000	Table Ta		470,000		
(本事業に よって成し	・利用者が	安全で快適に	利用できる施設・設備環境の整備が図ら				市長公約 該当なし 総合戦略 該当な 技当なし スマートシティ 該当な スマートシティ 該当な スマートシティ 該当な スマートシティ 該当な スマートシティ 該当な 田中度繰り返し 10 新規の 継続事業 市単独事業 2 義務の 任意的 事業 日宮 事業 分類 施設維持管理事 施設維持管理事 10 300,000 350,000 470,000				
遂げたい	れる。						50,000 300,000 350,000 470,000				
状態)											
	3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移										
				活動指標	単位	R3	R4 R5				
				修繕件数	件	0	0	0			
				11多元十五人	1+	U	U	U			
\				除草、剪定		1	4	0			
活動実績	・ガラウンドー	ブルフセススパト	イレの維持管理								
(R 5 年度に 行った主な活		.	イレの飛行を目達 Dため、R 5はグラウンド利用中止)	****		550	F7.4	445			
動内容)	(四川火	古汝山工尹。	が、 人 3はグラブン 1 利用 中正 /	事業費計	千円	559	5/4	11/			
				一般財源	千円	559	574	117			
				特定財源(国·県·他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	な値デー	タの推移			↓選択して	下さい	
() , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	'		効果指標	単位	R3	R4	R5			
				市有スポーツ施設の利用人数	人	241,029	355,475	462,351	値が小さいほど良い	効果が下がった	
効果説明	市有スポー	ツ施設を良好	な状態を維持する。								
(定量及び 定性)	市有スポー	ツ施設の利用	促進を図る。								
X-11)											
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	Ē)								
	とR4の一般		費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果			
	効果が上が	った指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
メリスト (R5とR4の		らない指標数	0指標		費	費用は下がった			0		
指標值増減)	効果が下が	りに担信数 指標全体	1指標 効果が下がった		用	費用の増減無し					
				•						ı	
	きに向けた検 [15年度の]		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果に	句上のための	D課題				
特になし											
(2)			=+ A10.6 F = 7.7 A10.5 F = 7.7								
(2) 上記	では、	♪課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	p=0=×nn	l						
	車業のたり	古烩哥 /声:	. 体比 束短术 巫***各和5.00字(5.1)	取組説明							
		上げるための	:、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討								

事業名 運動公園等維持管理事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 実施計画事業or一般事業 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報

		部産業文化スポーツ部			予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度のみ
	担当組織	課	スポーツ推進課		運動公園等維持管理事業	予算	款	10	新規or継続	新規事業
		係	スポーツ施設	係	建 到	科目	項	5	市単独or国県補助	市単独事業
Ī		体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度		実施方法	直営
	TYNK I TYNK	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 | 運動公園・栄公園・佐野武道館の3施設を市直営で維持管理する。

(2)目的

(3)目標値

			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	_		施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	210,000	210,000
(本事		利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られ	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
よって 遂げ		る 。	市有スポーツ施設の利用者数	人	241,029	355,475	462,351	210,000 2	470,000
状態									

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1) 活動宝繕

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	7 天順	(2) 冶動で肌切りる数値プラグ()事業員の間的							
		活動指標	単位	R3	R4	R5			
活動実績 (R5年度に		直営施設数 施設 修繕件数 件	3						
	令和5年12月1日から令和6年3月31日まで、市直営で 運動公園、栄公園、佐野武道館の維持管理を行った。 事業費計	件			1				
行った主な活動内容)		事業費計	千円	0	0	30,182			
動内容)		一般財源	千円			26,180			
		特定財源(国·県·他)	千円			4,002			
		(うち受益者負担)	千円						

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明	L CCC = 24 N CC		施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	値が大きいほど良い	効果が上がった
	リ朱説明	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(市有スポーツ施設の利用促進を図る。	市有スポーツ施設の利用者数	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった
	<i>(LIL)</i>								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	0		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年3月31日で市直営の維持管理は終了した。令和6年4月1日から新たな指定管理者となった。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在	り方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--------	------	------	-----	------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

運動公園・栄公園・佐野武道館の3施設を市直営で維持管理する。

 事業名
 運動公園等指定管理事業
 実施計画事業or一般事業
 一般事業
 市長公約
 該当なし
 総合戦略
 該当なし

 施策横断的な取組との関連性
 SDGs
 該当なし
 コンパクトシティ
 該当なし
 スマートシティ
 該当なし

1. 基本情報

担当組織 課 スポーツ推進課係 運動公園等指定管理事 体系コード 222 名称 根拠法令、条例等	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し				
	担当組織	課	スポーツ推進	課	海部小周竿也宁等理吏类	予算	款	10	新規or継続	継続事業
		係	スポーツ施設	條係	理劉公園寺拍走官理事業		項	5	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	222				目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	在野巾体育	事業	開始年度	H21	実施方法	指定管理者
IXM	TYNK LLINK	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市都市公園条例及び同	期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	久					•

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

|・運動公園、栄公園、佐野武道館の3施設を指定管理者により維持管理を行い、市民サービスの向上と経費の縮減を図る

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図ら	指定管理施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	210,000	210,000
(本事業に		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
よっ (放し 遂げたい		市有スポーツ施設の利用者数	人	250,000	300,000	450,000	470,000	470,000
状態)								
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		(-) .				
		活動指標	単位	R3	R4	R5
	(4月1日~11月30日) 市直営 R5年度に (12月1日~3月31日))	指定管理施設数	施設	3	3	3
		修繕件数	件	28	19	31
活動美績 (R5年度に						
行った主な活動内容)		事業費計	千円	117,699	123,969	101,460
到小公子)		一般財源	千円	116,899	123,969	95,462
		特定財源(国·県·他)	千円	800		5,998
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
±1 cm = 4 nn	= = M N D	司説明 市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 ■及び ホカスポーツ施設を良好な状態を維持する。	指定管理施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	値が大きいほど良い	効果が上がった
分 分			安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定			市有スポーツ施設の利用者数	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった
, A									

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	2指標
(221242	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から、年数が経ち、施設の改修や設備の更新が必要となっている。施設利用に支障が無いよう、効率的な施設管理、修繕等を実施していく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止	休止	再編成	受益者負担の目直しなど	

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

市民サービスの向上、及び安全・安心な施設維持管理が図られるよう、随時、適切なモニタリングを行う。

事業名学校開放事業実施計画事業or一般事業一般事業市長公約該当なし総合戦略該当なし施策横断的な取組との関連性SDGs該当なしコンパクトシティ該当なしスマートシティ該当なし

1. 基本情報

		部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	スポーツ推進課		学校開放事業	予算	款	10	新規or継続	継続事業	
		係	スポーツ施設	係	于仅用以尹未	科目	項	5	市単独or国県補助	市単独事業
Ī		体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度		実施方法	直営
	TXXK ITVIX	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市学校等施設開放規則	期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						•

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

・市立小中学校及び義務教育学校の施設(体育館 施設、校庭 施設、武道場2施設)及び若宮球場の夜間開放に係る運営と校庭の夜間照明施設の維持管理を行う事業。

(2)目的

(3)目標値

I			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的	・市民が身近な学校施設を活用し、各施設を不都合なく安全に利	年間延べ利用日数	日	3,000	3,000	4,000	5,400	5,400
	(本事業に								
	よって成し 遂げたい								
	状態)								
	,,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(エノ/白里	0天幀	(2) /白勁で武功9つ数値)	一分及 ()	プスグ学未見の作物				
		活動指標	単位	R3	R4	R5		
	・維持管理:校庭の夜間照明施設の修繕、電気料の支払い。 ・運営:運営委員会から提出された登録申請書の管理を行う。各 学校からの行事予定報告を日程表に記載し、各運営委員会へ送 付する。(運営委員会は各団体の施設利用日程を調整し日程表 を作成し提出。)提出された日程表を各学校、管理人へ送付する。利用後は、各管理人から実績の報告あり、報告に基づき報酬	年間延べ利用日数	П	3,473	2,312	5,337		
		年間修繕件数	件	5	2	6		
活動実績 (R5年度に								
行った主な活動内容)		事業費計	千円	4,285	4,808	5,749		
		一般財源	千円	4,285	4,808	5,549		
	の支払いをする。その他問合わせ等の対応をする。	特定財源(国·県·他)	千円			200		
		(うち受益者負担)	千円					

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)
(定量及び
定性)

・市民が身近な学校施設を活用することにより、市民一人 1 スポーツを推進する。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	年間延べ利用日数	П	3,473	2,312	5,337	値が大きいほど良い	効果が上がった
_							

(5)費用対効果結果(自動判定)

	費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
	効果	効果が上がった指標数	1指標
	が未 (R5とR4の 指標値増減)	効果は変わらない指標数	0指標
		効果が下がった指標数	0指標
		指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費田が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市内小学校と中学校の統廃合が行われ、義務教育学校が開校されることにより、使用できる施設数の減少が今後見込まれている。 このことから、1施設ごとの利用率の維持及び向上の取り組みが必要となる。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- ☑ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☑ 事業費の見直し検討
- ☑ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

体育館の改修工事や義務教育学校への統合等が今後予定されていることから、利用者への 周知を行うなど対応する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

業名	学校開放	体育施設	運営委員会活動事業	実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当な			
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当な			
. 基本				1		I							
\ / & & & b		産業文化スプ		予算中事業名		会計		事業計画	単年度				
当組織	F	スポーツ推進		学校開放体育施設運営委員会活動事業		款		新規or継続	継続				
	1	スポーツ施設 222		根拠法令、条例等	科目	項 目	5	市単独or国県補助 義務or任意	市単独任意的				
	体系コード		名称	低拠法市、余例寺	市₩				世紀中 直				
策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度		実施方法					
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	性到中子仪等地设用从戏员	期間	終了年度		事業分類	支援	事業			
. 事業 1)事		とび(基本計	画期間内)目標値										
業概要	・学校開放事業において、学校の屋内外体育施設の夜間開放に係る日程調整などの運営に対して運営委員会を組織し、市民が円滑にスポーツを行うことができる と表しまうにする。 ・運営委員会は、佐野市スポーツ協会の支部ごとに設置され、区域内の夜間開放施設の日程調整、管理人の選定を行う。												
2)目	的			(3)目標値									
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7			
目的	・ ・ ・ 屋内、屋外の学校体育施設を利用する団体の日程調整を図り、		運営委員会数	団体	19	16	16	16	1				
本事業に			学校開放利用登録者数	人	4,500	4,000	3,500	3,500	3,5				
ジビ成し 遂げたい	円滑に利用	円滑に利用できるようにする。											
状態)													
3. 前年度の実績 (活動及び費用対効果) 説明 (1)活動実績				(2)活動を説明する数値デ 活動指標 運営委員会数	ータ及び 単位 団体	事業費の持 R3 19	推移 R4 16	R5 16					
動実績	(市の活動	」) 各支部の	の運営委員会に交付金の支出	運営委員会の開催回数	回	12	12	12					
5 年度に た主な活		員会の活動)	毎月の夜間開放施設の日程を調整し、	古光報=1		220	276	276	i				
协内容)		管理人選定。		事業費計	千円	328	276	276					
				一般財源		328	276	276					
				特定財源(国・県・他)	千円								
		(うち受益者負担)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
				(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		(a) 南野神田大説四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二							
3)活	動による効果			(4) 事業効果を説明する数					↓選択して				
3)活	動による効果			(4) 事業効果を説明する数 効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質				
		\ 七伝=ルセ・ウ・セ	· +/小小岩产 4/4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数	単位団体	R3	16	16					
果説明	市有スポーソ		な状態を維持する。	(4) 事業効果を説明する数 効果指標	単位	R3			指標の性質				
果説明 E量及び	市有スポーソ	ツ施設を良好 ツ施設の利用		(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数	単位団体	R3	16	16	指標の性質				
果説明 ^{定量及び}	市有スポーソ			(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数	単位団体	R3	16	16	指標の性質				
果説明 定量及び 定性)	市有スポーソ	ツ施設の利用	促進を図る。	(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数	単位団体	R3	16	16	指標の性質				
リ果説明 定量及び 定性) 5)費	市有スポー! 市有スポー! 田対効果結!	ツ施設の利用 果(自動判定	促進を図る。	(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数 学校開放利用登録者数	単位団体	R3	16	16 3,439	指標の性質	R4とR5のJ 効果は変わら			
果説明 ^{定量及び} 定性) 5)費 間(RS	市有スポー! 市有スポー! 市有スポー! 用対効果結! 5とR4の一般!	ツ施設の利用 果(自動判定 財源増減)	促進を図る。 ≘) 費用の増減無し	(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数	単位団体	R3	16 3,943	16 3,439 効果	指標の性質値が大きいほど良い				
果説明 ^{定量及び} 定性) 5)費 (用(R5) 効果	市有スポー! 市有スポー! 用対効果結! 5とR4の一般! 効果が上が	ツ施設の利用 果(自動判定 財源増減) った指標数	に (促進を図る。 (重用の増減無し の指標	(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数 学校開放利用登録者数	単位団体人	R3 19 4,564	16	16 3,439	指標の性質				
果説明 定量及び 定性) 5)費 用(RS 効果 RSとR4の	市有スポー! 市有スポー! 用対効果結! 5とR4の一般! 効果が上が	ツ施設の利用 果(自動判定 財源増減) った指標数 らない指標数 った指標数	E) 費用の増減無し の指標 1指標 の指標	(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数 学校開放利用登録者数	単位団体人	R3 19 4,564 費用は下がった 費用の増減無し	16 3,943	16 3,439 効果	指標の性質値が大きいほど良い				
果説明 ^{定量及び} 定性) 5)費 日 (R5) 効果	市有スポーソ 市有スポーソ 用対効果結果 5とR4の一般 効果が上が 効果は変わら	ツ施設の利用 果(自動判算 財源増減) った指標数 るない指標数	E) 費用の増減無し の指標 1指標	(4)事業効果を説明する数 効果指標 運営委員会数 学校開放利用登録者数	単位団体人	R3 19 4,564	16 3,943	16 3,439 効果 効果は変わらない	指標の性質値が大きいほど良い				

取組説明

仕事	仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)									
事業名	体育施設	と・学校開加	放施設貸出事務	実施計画事業or一般事業	—;	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報									-
	-	産業文化スプ		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	
担当組織	課	スポーツ推進		 - 体育施設·学校開放施設貸出事務	予算	款		新規or継続	継続	
	係	スポーツ施設			科目	項	5	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	= ***	目		義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市都市公園条例、佐野	事業	開始年度		実施方法	直	
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	市体育施設条例、佐野市学校等施設開放規則	期間	終了年度		事業分類	施設維持	官埋事業
	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要									
事業概要	業概要・市内体育施設及び学校開放施設の利用申請において、円滑に施設貸出の手続きを進めるために、各施設の利用申請書の作成を行う。									
(2)目的	5			(3)目標値						
5 45				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に				公共スポーツ施設の延べ利用者数(学校開放を除く)	人				470,000	
(本事業によって成し		並びに屋内、	屋外の学校体育施設を円滑に利用できる	学校開放登録団体数	団体	274	240	218	240	240
遂げたい 状態)	ようにする。									
i valy										
3. 前年 度 (1)活動		5動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 体育施設数 学校開放施設数(屋内・屋外・	単位	R3 42	R4 41	R5 41		
活動実績	・市内体育	施設及び学校	 に開放施設の利用申請において、円滑に	子权用放爬改数(崖内•崖外	r)	62	56	54		
(R5年度に 行った主な活	施設貸出の行う。	手続きを進め	るために、各施設の利用申請書の作成を	事業費計	千円	105	110	92		
動内容)	13.20			一般財源	千円	105	110	92		
						100				
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	がんだし	タの推移			↓選択して	下さい
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
±1 cm = 4 nn				公共スポーツ施設の延べ利用者数(学校開放を除く)	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び	·体育施設	並びに屋内、	屋外の学校体育施設を円滑に利用できる	学校開放登録団体数	団体	274	240	218	値が大きいほど良い	効果が下がった
定性)	ようにする。									
(5)費用	用対効果結果	艮 (自動判定	<u>E</u>)	_						
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		1指標			************	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わり	うない指標数 った指標数	0指標 1指標		費	費用は下がった		0		
指標値増減)	77321073 1 73	指標全体	効果は変わらない]	用	費用が増加した				
	4. 次年度に向けた検討 (1)令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 まにない。									
_										

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

仕事	仕事の振り返りシート(令和 5 年度実施分)										
事業名	体育施設	とトイレ改作	多事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
1. 基本情	I			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 坐本		産業文化スポ	ピーツ部	予算中事業名		会計	—船	事業計画	単年原	ぎのみ	
担当組織	課	スポーツ推進			予算	款		新規or継続	新規		
	係	スポーツ施設・	係	・ 体育施設トイレ改修事業		項	5	市単独or国県補助	市単独	市単独事業	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	的事業	
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H25	実施方法	直	営	
以來冲示	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	施設等數	&備事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備			•			-		
(1)事第	美概要 		画期間内)目標値 トイレを様式化及び汲み取り式トイレの水	先化を図る.							
子来佩女	191 37010	7,000,000,000	1 10 CHRISTON ON MANAGENT 10 000000	7010 CEI & 6							
(2)目的	5			(3)目標値							
	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				改修整備する施設数	施設	2	2	2	2	2	
(本事業に よって成し	*事業に 市内スポーツ施設の和式トイレを様式化及び汲み取り式トイレの水		市有スポーツ施設の利用人数	人	241,029	355,475	462,351	470,000	470,000		
遂げたい	洗化を図る	0									
状態)											
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移											
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
					+/ =/-	4					
	コケルタナナをかけ	c≘∩ / / ms d '	定新 公里	改修整備する施設数	施設	1	2	2			
\\\		設 佐野市	里斯公園								
活動実績 (R5年度に	(内訳)										
		さい 4	基	事業費計	千円	1 000	2 002	2 001			
動内容)			ー 男子トイレ 2基	2 112 121		1,990	2,983	2,991			
			女子トイレ 3基	一般財源	千円	1,990	2,983	2,991			
				特定財源(国·県·他)	千円						
				(うち受益者負担)	千円						
				(プラ文無石兵造)	111						
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値デー	タの推移			↓選択して	下さい	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
効果説明				改修整備する施設数	施設	1	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない	
(定量及び	トイレ9基の)改修を行った	ことにより、利用者の利便性が向上した。	市有スポーツ施設の利用人数	人	241,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった	
定性)											
		_				<u> </u>					
		艮(自動判定		1		İ		***			
賀用(R5	とR4の一般! 効果が上が		費用の増減無し 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった		
効果		おい指標数			費	費用は下がった	刈木が工が力に	が来ば多りがい	が来が トルツに		
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		用	費用の増減無し	0				
	度に向けた検 [] 5 年度の事		効果が上がった ける反省点、環境変化や関係者からの意見] 見等を踏まえた検討課題、費用:		青用が増加した う上のための)課題				
今後、トイレ	が洋式化さ	れていない施設	設の改修が必要である。								
(2) !-	¬⊏¼ ⊦≂-	(*====================================	st A和C左序DがAできた今~***								
(乙) 上記	[以自只及(/ 誄越を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明							
				[X1] TANO /3	1						

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

仕事の振り返りシート (令和5年度実施分) 作成·更新日 2024年6月28日										
事業名	渡良瀬川	緑地運動		実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	 般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
J 2/0 L				施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ	該当なし		該当なし
1. 基本		*************************************	10 11 11			l o = 1	40	I w)	·=
+□ \ / ◊□ ◊±	部	産業文化スプ		予算中事業名	~ ~	会計		事業計画	単年度	
担当組織	課 係	スポーツ推進スポーツ施設		渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業	予算 科目	款 項	5	新規or継続 市単独or国県補助	継続市単独	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	140	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度		実施方法		営
政策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市体育施設条例及び同	期間	終了年度	1113		施設維持	
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	- 条例施行規則 		11 J		チネガス	מבובעיות:	
(1)事美	養概要		画期間内)目標値							
事業概要	写業概要 ・渡良瀬川緑地にある野球場1面、ソフトボール場4面、運動広場2面の維持管理。									
(2)目的	ኃ			(3)目標値						
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
日的 (本事業に	. #II II ** ***	こう かんしゅう	利用できる施設・設備環境の整備が図ら	利用者数	人	12,646	13,609			14,000
よって成し	・利用省か れる。	女主で伏廻に	小川 (でる)他は・は (は、現代の 発信) かいいい	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
遂げたい	1100									
状態)										
3.前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 活動指標 単位 R3 R4 R5										
				利用者数	人	12,646	13,609	13,519		
活動実績 (R5年度に										
行った主な活	野球場 1	面、ソフトボー	ル場4面、運動広場2面の維持管理。	事業費計	千円	3,153	2,468	3,121		
動内容)				5 3 1 3 2 1			,			
				一般財源	千円	3,153	2,468	3,121		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(73/117()1/	113]	
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数					↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明	 古有フポー [・]	ツ梅型を良好	な状態を維持する。	利用者数 安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	12,646 38	13,609 41	13,519 41	値が大きいほど良い 値が大きいほど良い	効果が下がった 効果は変わらない
(定量及び		ツ施設の利用		文王に区市できずけられ	//Box	30	71	71	277000000	MX1632175/6V1
定性)	115132010	> //CDX <>> 1 3/ 1.								
(5) 費E	日分分里红	果(自動判定	=)	•	3	•		•	•	•
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	った指標数	0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
MA (R5とR4の	効果は変わめ	らない指標数 らた指標数	1指標 1指標	-	費	費用は下がった				
指標値増減)	MAN I II	指標全体	効果が下がった		用	費用が増加した			0	
	度に向けた検 ①5年度の乳		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用:	対効果(句上のための)課題			
(2) 上語	己反省点及び	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							_
				取組説明						
	事業の在り	方検討(廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	1						

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) (株成・東新日 2024年6月28日						6月28日				
事業名	栃木県体	育施設協	会参画事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情						1			I	
	-	産業文化スプ		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
担当組織	課	スポーツ推進		栃木県体育施設協会参画事業	予算	款		新規or継続	継続	
	係 体系コード	スポーツ施設 222	^{1徐}	根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目	5	市単独or国県補助 義務or任意	市単独任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	似处态力、未为专	事業	開始年度	1	実施方法	直	
政策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	参画	_
	施策		ケスパープで学聞こびに入べが、来よるようフィケ 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		741[1]	於丁牛皮		尹未刀叔	多 凹	尹未
2. 事業 概 (1)事業	美概要		画期間内)目標値 、	のすることに LN 休音施設に関っ	ナス情却	引収集や音 E	目な物を行	っている		
事業概要	・栃木県体育施設協会へ参画し、協議会主催の会議や研修に参加することにより、体育施設に関する情報収集や意見交換を行っている。 事業概要 ・栃木県体育施設協会とは、県内の体育施設の適切な運営管理について協議し、体育の振興に寄与することを目的として、県内市町の自治体や体育施設を管理する事業者等を会員として構成している団体である。									
(2)目的	<u></u>			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	旧山夕地	Λ/ + Δ +左=几台	STERNA (MONTH AND	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
よって成し			管理者(協会会員)と情報交換すること 施設の維持管理の向上が図れる。							
遂げたい	により、仕事	いけんれんない	他設の飛行日達の川上が囚れる。							
状態)										
(1)活動 活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容)	加実績 (市の活動の会議の参 (栃木県体研修会2回)) 栃木県作加を行う。 本育施設協会 国の参加、関頭	対効果) 説明 本育施設協会に負担金の支出、年2回 の活動) 年2回の会議、、全国会議・ 東会議・研修会2回の参加、その他研修 情報提供・交換を行なう。	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 会議への出席回数 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他)	単位 回 千円 千円	ド事業費の対 R3 1 4 4	性移 R4 2	R5 1 4 4		
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	な値デー	タの推移			↓選択して	下さい
(3) (4)				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明 (定量及び 定性)		ツ施設を良好 ツ施設の利用	な状態を維持する。 促進を図る。	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(5) 費用	日対効里結	果(自動判定								
	とR4の一般		費用の増減無し	************************************		İ		効果		
	効果が上が	った指標数	0指標	まる / 51 3-2/ エットロル州にひ ノエコロリ			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R5とR4の		うない指標数	1指標		費	費用は下がった				
指標值増減)	効果か下か	つに指標致 指標全体	<u>0指標</u> 効果は変わらない		用	費用の増減無し		0		
	1. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題									

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名 アリーナたぬま等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情報						

		部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	スポーツ推進	課	アリーナたぬま等指定管理事業	予算	款	10	新規or継続	継続事業
		係	スポーツ施設	係	プラブルのよび日に日任事業		項	5	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	2		佐野市体育施設条例及び同条例 - 施行規則		開始年度	H20	実施方法	指定管理者
以來体系	政策	2	フポーツをあたした しゃが佳 ナスナナベノり	佐野市都市公園条例及び同条例	期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業	
		施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	施行規則		•	-	-	•

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

・平成20年度からアリーナたぬま、葛生武道館、中運動公園、葛生農業者トレーニングセンターの4施設を平成22年度から田沼グリーンスポーツセンター、田沼総 合運動場、田沼西運動場の3施設を指定管理者により管理していたが、平成28年度より併せて7施設を指定管理者により一括管理としている

(3)目標値

(2)目的

目的

(本事業に よって成し

遂げたい

状態)

・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図ら れる。

・市民ニーズに対応したサービスの提供

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
指定管理施設利用者数	人	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000
安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)			///	, ナベデッ)	H 17	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		指定管理施設数	施設	7	7	7
ンズチレウルま	・指定管理者: NPO法人日本スポーツ振興協会 (令和4年度から令和8年度(5年間))	修繕件数	件	14	11	15
活動実績 (R5年度に	・施設の修繕。					
行った主な活 動内容)	32,62 23,633 (20)	事業費計	千円	76,621	74,409	78,523
#J/ 1 G /	旨定管理者への指導、助言。	一般財源	千円	76,360	74,409	75,437
		特定財源(国·県·他)	千円	261		3,086
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
** EE = X		指定管理施設利用者数	人	70,137	122,634	181,417	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説 /字号で	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及定性)	市有スポーツ施設の利用促進を図る。							
(LIX)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	0		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から、年数が経ち、施設の改修や、設備の更新が必要となっている。 施設利用に支障が無いよう、効率的な施設管理、修繕等を実施していく必要がある。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止 休止	再編成	受益者負担の目直しなど)	

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

施設利用に支障が無いよう、施設の管理、修繕等を実施する。

作成·更新日 2024年7月29日

	- #0 .A.1									
事業名	スポーツ	医科学セン	/ター調査研究事業	実施計画事業or一般事業		計画事業	市長公約			該当なし
1. 基本情	± 井□			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 空本		総合政策部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	期間限定	
旦当組織		政策調整課			予算			新規or継続		事業
	係	政策調整係		√−ツ医科学センター調査研究될	4	項	1	市単独or国県補助	市単独	浊事業
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	7	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり					実施方法		委託
	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	_	期間	終了年度	予和5年度	事業分類	計画策定	・管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
2. 事業 概 (1)事第	美概要 		画期間内)目標値							
事業概要			設置に向けた検討を行う。 方法・場所、効果や課題などの調査研究							
(2)目的	ጎ			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				策定した方針	件				1	
(本事業によって成し	スポーツ医科	斗学センターの	設置に向けた整備方針を固める。							
遂げたい									 	
状態)									 	
								<u>.</u>	<u> </u>	
3.前年 原 (1)活動		5動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値テ	ータ及し	「事業費の技	隹移		_	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				調査件数	件			2		
							2		1	
活動実績				庁内打ち合わせ回数	回		3	2		
(R5年度に	スポーツ医科学センターに係るニーズ調査を実施したほか、スポーツ 医科学センターにおける機能等の調査を行った。								1	
				事業費計	千円	0	0	990		
動内容)				一般財源	千円			990		
				特定財源(国·県·他)	千円					
									1	
				(うち受益者負担)	千円				j	
(3)活動	前による効果			(4)事業効果を説明する数	女値デー?	りの推移			↓選択して	て下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明				整備方針	件				値が大きいほど良い	
の未記り	スポーツ医利	斗学センターの	整備方針ができる。							
` 定性)									 	
									 	
								<u> </u>		
		果(自動判定		1				41		1
	とR4の一般! 効果が上が		費用が増加した 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果が要わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わら	らない指標数	0指標		費	費用は下がった	が未が上がった	が未は支むづない	が未が トル・カ・カ	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が		0指標		用	費用の増減無し				
in is the time,		指標全体	効果は変わらない	J		費用が増加した				ı
	度に向けた検 ①5年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用:	対効果に	可上のための)課題			
			め整備に着手する。							
(2)上訓	己反省点及び	/課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	T-40=400	1					
	車券のたい	方烯計 /處心	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
			、休止、冉編成、受益有貝担の見直しなと) 事務改善の検討							
_	事業費の見		- WOO - WIT	 スポーツ医科学センターの整備	方針を同	国め、整備に	着手する。			
_			事務改善の検討							
_			犬維持又は現状の計画通り)							

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 2024年6月28日

11手	りがで	ルベリン	/一ト(7443年度	.夫加刀)			1 F.	戏•史机口	20244	-0月20口	
事業名	運動公園	国テニスコー	-卜改修事業	実施計画事業or一般事業	— <u>j</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情			10								
	部	産業文化スプ		予算中事業名		会計		事業計画	単年		
担当組織	課	スポーツ推進		運動公園テニスコート改修事業		款		新規or継続	新規		
	係	スポーツ施設		担拠法会 夕周笠	科目	項	5	市単独or国県補助	市単独任意的		
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等	= W	目	2	義務or任意			
政策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度		実施方法	直		
	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	- -	期间	終了年度		事業分類	施設等數	整備事業	
施策 2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備											
事業概要	・スポーツ振	興くじ助成(TOTO)を利用し、運動公園テニスコート	(北側7面) の全面改修							
(2)目的	ካ			(3)目標値							
,				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的				安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41	
(本事業に	·運動公園	テニスコート((7面)の人工芝コート(5面)の全面	市有スポーツ施設の利用人数	人	250,000	300,000	350,000	470,000	470,000	
よって成し 遂げたい	更新とハート	ベコート (2面	i)の人工芝コートの改修を行った。								
状態)											
,											
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	引対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ					İ		
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				改修整備する施設数	面			14			
活動実績											
(R5年度に											
				事業費計	千円	0	0	69,276			
動内容)						0	U				
				一般財源	千円			39,276			
				特定財源(国·県·他)	千円			30,000			
								,			
				(うち受益者負担)	千円						
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	(値デー	タの推移			↓選択して	下さい	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
	タケルルに	z T # †	ᄱᄼᇬᅀᆁᄡᆌᅘᄧᅩᄔᅜᅓᅶ <i>ᄱᄼ</i> ᅩᅩᅩ	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない	
			部分の亀裂や剥離の大規模改修を行った J用者の怪我防止、競技性の向上が図れ	市有スポーツ施設の利用人数	人	214,029	355,475	462,351	値が大きいほど良い	効果が上がった	
(た。	引用促進17个!	1用名の怪我防止、競技性の向上が図れ								
XLIL)	/co										
(5) 費田	日が効果結ら	果(自動判定	₽)								
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果			
	効果が上が		1指標	※107月18年の名が成となり刊品			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
効果 (R5とR4の	効果は変わり	らない指標数	1指標		費	費用は下がった					
指標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し					
		旧伝土冲	対未が上がうに			貝用が培加した					
	をに向けた検 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用を	対効果に	句上のための)課題				
今後、南側	ロート7面の)改修を行う心	必要がある。								
(2) ⊢≕	교무소구자	(運用をかみ)	えた、令和6年度及び令和7年度の取組								
(乙) 上記	以自只及(が味起を始まれ	へに、74104度及び741/年度の取組	取組説明							
П	事業の左り	方給計 /歳.ヒ	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4以7社5九4分							
		上げるための	、休正、冉編成、受益有負担の見直しなど) 事務改善の検討								

仕事	の振り)返りシ	/-ト(令和5年度	実施分)			作	成・更新日	2024年	6月28日
事業名	運動公園	國等長寿命	北事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u> f	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
, , , ,				施策横断的な取組との関連性				該当なし		該当なし
1. 基本情	青報									
	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	スポーツ推進	課	海劫八国笠巨主人儿吏类	予算	款	10	新規or継続	新規	事業
	係	スポーツ施設	係	- 運動公園等長寿命化事業	科目	項	5	市単独or国県補助	国県補	助事業
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	R4	実施方法	直	営
以來作术	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	施設等數	&備事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
2. 事業概要と目的及び (基本計画期間内) 目標値 (1) 事業概要 平成30年度国庫補助を受け、運動公園、田沼GSC、中運動公園の10か年の長寿命化計画を策定。令和3年度に市公園施設長寿命化計画(都市整										
(2) = (に統合し、全	和4年度から運動公園施設の長寿命化							
(2)目的	Ŋ			(3)目標値	}} / /L	5.0	5.4	5.5	D.C	57
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	古小周梅詩	2000年会化計	両基づき 計画的に施設の改修を行い	安全に使用できる市有スポーツ施設数 市有スポーツ施設の利用人数	施設	38	300,000	41	41	41
よって成し	市公園施設長寿命化計画基づき、計画的に施設の改修を行い、 安全で快適なスポーツ施設に整備する。			川有人ハーツ心設の利用人数	人	250,000	300,000	350,000	470,000	470,000
遂げたい										
状態)										
活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	運動公園 工事:四阿設計:パー 設計:パー中運動公園 工事:遊見	No.		活動指標 改修整備する施設数 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他) (うち受益者負担)	単位 施設 千円 千円 千円	R3 0	R4 0	R5 3 38,470 3,370 35,100		
(2))] =								1 122401 -	- 	
(3) 石里	かによる効果			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	90)推移 R3	R4	R5	→選択して 指標の性質	
				メカス・14 伝 安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41		効果は変わらない
効果説明	+F=0-51 / 5 ·	./===.:-		市有スポーツ施設の利用人数	人		355,475			効果が上がった
(施設改修を	さ行うことにより	、安全で快適に利用できるようになる。	1 13 11 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	- , ,			102,002		
定性)										
(5) 毒用	──── ∃⊅オオネカオŧ��	果(自動判定			-					
	さR4の一般		=/ 費用が増加した	************************************		ĺ		効果		
	効果が上が		1指標	ハエ ロノコロルベエッショル以により十四日			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	•
効果	効果は変わ	らない指標数	1指標]	費	費用は下がった				
(R5とR40) 指標値増減) り指標 り指標 か里が上がった				用	費用の増減無し					
(1) 令和	指標・自体									

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 2024年6月28日 作成•更新日 事業名 運動公園陸上競技場第2種公認更新事業 市長公約 該当なし 総合戦略 実施計画事業 実施計画事業or一般事業 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 単年度のみ 部 予算中事業名 会計 一般事業計画 担当組織 課 スポーツ推進課 予算 款 10 新規or継続 新規事業 運動公園陸上競技場第2種公認更新事業 スポーツ施設係 科目 項 5 市単独or国県補助 市単独事業 係 名称 根拠法令、条例等 2 義務or任意 任意的事業 体系コード 222 目 基本目標 新たな流れの創造による賑わうまちづくり 事業 開始年度 H30 実施方法 直営 2 政策体系 期間 終了年度 施設等整備事業 政策 2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 事業分類 施策 2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 ・運動公園陸上競技場は、平成元年3月に竣工し、公益財団法人日本陸上競技連盟より第2種競技場として公認を受けている。建築後30年以上が経過し 事業概要 ているが、5年ごとの更新時には、公認が継続できるよう改修を実施する。 (2)目的 (3)目標値 単位 R3 R4 R5 R7 効果指標 **R6** 日的 安全に使用できる市有スポーツ施設数 施設 41 38 41 41 (本事業に タイム計測用電気配線等更新、トラックの一部補修、ABゾーンの 市有スポーツ施設の利用人数 人 250,000 300,000 350,000 470,000 470,000 よって成し 洗浄、必要備品の購入。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 活動指標 単位 R5 R4 改修整備する施設数 施設 1 活動実績 タイム計測用電気配線等更新、トラックの一部補修、ABゾーンの (R5年度に 行った主な活 洗浄、必要備品の購入を行った。 0 事業費計 0 千円 76,765 動内容) 一般財源 千円 31,565 千円 特定財源(国・県・他) 45,200 (うち受益者負担) 千円 (3)活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 し選択して下さい R4 R5 指標の性質 R4とR5の比較 効果指標 単位 R3 41 値が小さいほど良い 安全に使用できる市有スポーツ施設数 効果は変わらない 施設 41 38 効果説明 第2種公認陸上競技場の検定に合格したことにより、栃木県陸上 市有スポーツ施設の利用人数 355,475 462,351 値が大きいほど良い 効果が上がった 241,029 (定量及び 競技協会の主要な大会を開催できるようになった。 定性) (5) 費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用が増加した 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 1指標 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がつ 効果 効果は変わらない指標数 費用は下がった 費 (R5とR4の 効果が下がった指標数 費用の増減無 指標值増減) 用 指標全体 効果が上が 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2)	ト記反省占及び課題を踏まえた	今和6年度及75今和	7 年度の取組

□ 事業の在り方検討((廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
-------------	-------------------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

作成•更新日 2024年6月28日

事業名	市有スポ	ーツ施設	LED照明整備事業	実施計画事業or一般事業	実施語	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性		該当あり		該当なし		該当なし
L. 基本情	青報					•				
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計			期間限定	
	課	スポーツ推進		市有スポーツ施設LED照明整備事業	予算			新規or継続	新規	
	係	スポーツ施設		무베누스 선계상	科目	項	5	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222		根拠法令、条例等	₽ ₩	目即处左座	2	義務or任意	義務的	
攺策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	R5	実施方法	直	
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		州间	終了年度		事業分類	施設等整	全佣 争 耒
	既要と目的及	そび(基本計	画期間内)目標値							
『業概要	市有スポー	ツ施設の外灯	の水銀灯、ナトリウム灯を長寿命で省エネル	レギー効果の高いLED照明に更明	新するこ	とにより、二	酸化炭素の	D排出削減	を図る。	
(2)目的	ħ			(3)目標値						
/ Ш	_			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	++ ·	vitte=D. o. bl. Jo		改修整備する照明の灯数	灯			218		
(オーナスに			の水銀灯、ナトリウム灯を長寿命で省エネ	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
	ルキー効果 出削減を図		明に更新することにより、二酸化炭素の排							
状態)	шну/жес	بارم.								
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及ひ	事業費の持	進移	-	1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				改修整備する照明の灯数	灯			218		
舌動実績	屋外灯 215灯								1	
うた主な活				事業費計	千円	0	0	20,132		
動内容)				一般財源	千円			1,032	ĺ	
				特定財源(国·県·他)	千円					
								19,100	-	
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	(値デーク	りの推移			↓選択して	下さい
, , , , , ,				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
-1 m=4 nn				改修整備する照明の灯数	灯			218	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び	雷灯をLED	火はすることに」	り、二酸化炭素の排出を削減する。	安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
定量及0	15/J CLLD	TO 9 DECICO								
									<u> </u>	
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	E)	_						
費用(R5	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変われ	<u>うた指標数</u> うない指標数	1指標 1指標		弗	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の		った指標数	0指標		費田	費用の増減無し				
旨標值増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	0			
	度に向けた検 [15年度の]		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用対	对効果向	可上のための)課題			
りある プログログログ プログログ サイド かっぱい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい	ツ施設の良め	好な状態を維	持する。							
(2)上記	 記反省点及び	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見	と上げるための 見直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討	4A(E10/L+/)						

作成•更新日 2024年6月28日

エテ	OD 1/11()			2 <i>)</i> (16/3/						
事業名	体育施記	ひ備品購り	、事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情		****	1º 10 0 7	又签本事業力		Λ=1	ėn.	±**=1 ±	¥ /- 	(BO)E1
	部 産業文化スポーツ部 コポールサゲー アー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェ		予算中事業名	マ竺	会計		事業計画			
	課 係			体育施設備品購入事業	予算 科目			新規or継続 市単独or国県補助	新規 市単独	
政策体系	体系コード			根拠法令、条例等	竹日	目	_	義務or任意	任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度		実施方法		
	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度	ПЭТ	事業分類	-	
	施策		大ハーツを軸とした人々か果まるまり入り 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		州间	於丁平及		争耒刀知	施設等數	企佣争耒
	既要と目的及 美概要	そび (基本計	画期間内)目標値		五立	E1 +4==				
	令和元年度	き 陸上競技	7-のTOTO助成(スポーツ振興くじ)を 場(ハードル更新)	別用し、老竹化した他設め側品のの上競技場(小学生用ハードル)	史	4人で行 つ。				
(2)目的	ቫ			(3)目標値						
·=/ HP	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				備品購入	式	0		1		1
(本事業に				安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
よって成し	・利用者が	安全・快適に	利用できる体育施設の整備を図る							
遂げたい 状態)										
177.67)										
3. 前年 度 (1)活動		舌動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	·_夕及C	事業費の打	隹移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				備品購入		0	- 1	-1	1	
					式	0	1	1		
舌動実績										
R 5 年度に テった主な活	・陸上競技場 フィニッシュタイマー 1 台 購入			古光串二	-7 m	0	0.224	C 12C		
動内容)				事業費計	千円	0	9,331	6,136	ļ	
				一般財源	千円		3,331	1,103		
				特定財源(国·県·他)	千円		6,000	5,033		
							-,	-,		
				(うち受益者負担)	千円]	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数値データの推移 ↓選択して下さい						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	・市有スポーツ施設の良好な状態を維持する。			備品購入	式	0	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明				安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び 定性)	・市有スポー	-ツの利用促	進を図る。							
ÆIL)										
(5)費日	动型结果	果(自動判定	₽)							
	とR4の一般		費用は下がった					効果		
	効果が上が		0指標	X 1 0/31 32X 1 37-11/MCG/7 11/M			効果が上がった		効果が下がった	
効果	効果は変われ	うない指標数	2指標		費	費用は下がった		0		
(R5とR4の 旨標値増減)	効果かトか	らた指標数 指標全体	<u>0指標</u> 効果は変わらない		用	費用の増減無し				
(1)令和 寺になし		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意		対効果で	<u>乳上のための</u>	課題			
	事業の在り	方検討(廃止	こ、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
	事業費の見 業務時間效	見直し検討 効率化のための	事務改善の検討 D事務改善の検討 伏維持又は現状の計画通り)							